



玉
の
一





わがふはなほおとしめしむるのふとていかにかかぬともいふは
あつたのふとていかにかかぬともいふは

わがふはなほおとしめしむるのふとていかにかかぬともいふは
あつたのふとていかにかかぬともいふは

あつたのふとていかにかかぬともいふは
あつたのふとていかにかかぬともいふは

わがふはなほおとしめしむるのふとていかにかかぬともいふは

あつたのふとていかにかかぬともいふは
あつたのふとていかにかかぬともいふは

とくもなほとくもつれづれにおかひつらぬの程の事なれども
しるすまじき事ゆゑの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
おぼしめしつゝの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
ていざうらてあつちいふ事なれどもいふ事なれども
よりの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
まうその事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
月が事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
あてきと事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
唯事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
て入る事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
こゝろ思はれどもいふ事なれどもいふ事なれども
よりの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども

とくもなほとくもつれづれにおかひつらぬの程の事なれども
しるすまじき事ゆゑの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
おぼしめしつゝの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
ていざうらてあつちいふ事なれどもいふ事なれども
よりの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
まうその事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
月が事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
あてきと事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
唯事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
て入る事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども
こゝろ思はれどもいふ事なれどもいふ事なれども
よりの事なれどもいふ事なれどもいふ事なれども

もたらさるる様なりはききかへて思ふなりはふは公神代道公貴
はてはかたの神代神代神代神代神代神代神代神代神代
とて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり

世に...
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
世に...
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
世に...
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり

あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
世に...
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
世に...
あつた中ひらた思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり
かゝりて思ふ事なりて思ふ事なりて思ふ事なり

らんかきとてあて候者よしと思はるるはけりとのち候はれども
乃中者なりしむみかきとてあてしきまじりぬ人なれども
こそと候りたる事との候者よしと思はるるはけりとのち
まへんかきとてあて候者よしと思はるるはけりとのち
る事のあてなりしきまじりぬ人なれども
とて候りたる事との候者よしと思はるるはけりとのち
ありとてあて候者よしと思はるるはけりとのち
とて候りたる事との候者よしと思はるるはけりとのち
とて候りたる事との候者よしと思はるるはけりとのち
とて候りたる事との候者よしと思はるるはけりとのち

Very faint, illegible handwritten text on the reverse side of the page.



